

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞浪市立稲津中学校		
実 施 期 間	平成26年11月1日(土)		
実 施 概 要	①授業参観 ②教育講演会		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	授業公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	102人	計 104人
	地域関係者	2人	
実 施 状 況	◎11/1 授業参観&教育講演会 13:10~14:00 授業参観 1年生：道徳 資料名「夜の果物屋」 ・誠実な気持ちをもって、自分の行動に責任をもつ態度を育てる。 2年生：保健指導 ・薬物の恐ろしさを知り、絶対に使用しない意識を高める。 3年生：道徳 資料名「自由の意味」 人権差別のない社会を創る心情を養う。 14:15~15:30 教育講演会 講師 武笠 正治氏 演題 『命を輝かせるために』 東日本大震災等のボランティアとして活躍されている武笠先生の体験談をもとに、自分の命を含め、一人一人の命がかけがえのない大切なものであることを再認識し、命を輝かせるために何が大切かを考えるきっかけとなった。		
成果及び課題	<成果> ・多くの保護者の方に参加していただいた。(長子数から考えると9割を超える保護者の参加があった。) ・講演を通して、命の大切さや相手に対する思いやりの大切さを学ぶことができた。 ・家族・周りの人の温かい支えに気づくことができた。 ・感謝や思いやりの気持ちを言葉にして伝えることの大切さについて 人によく思われたいからではなく、自分の意志で自分の気持ちで、人の為に何かをしてあげたり、助けてあげたり、自分自身のために最後まで決めたことをやり遂げるようなそんな人になりたいし、なってほしいなあと思いました。 (保護者の感想より) <課題> ・2年生は昨年度に引き続いて、薬剤師の方に保健講話をしていただいたが、来年度は全学年とも道徳の授業を公開する。 ・地域の方の参加が少なかったので、広報活動を充実させ、地域からの参加者も増やしていく。		